

『先進技術活用のための人材育成について 』

～ドローンによる広域捕獲～

先進技術と猟師の知識を融合したスマートハンティング

情報収集

- 赤外線ドローンを使った鳥獣の撮影
- AI技術を使った生息数のカウント

作戦立案

- 情報をもとに捕獲場所の決定
- 巻き狩りを実施する場合の効率的なハンターの配置
- 作戦共有アプリ「ドロロケ」に情報入力

捕獲

- ドロロケでハンター同士の待場やドローンの位置の把握
- ハンティングドローンで鳥獣の追い込み
- ドローンを使ったハンティングの方法



ドローンロケーションシステム

作成計画

○事前に巻き狩りなどの猟場やタツマをアプリに入力し、速やかな情報共有。

作戦実行

○アプリ上の画面にドローンやハンターの位置が表示されるので、ドローンの飛行ルートやハンター同士の誤射を防ぐことにつながります。

○作戦終了後、捕獲位置やシカやイノシシの目撃場所、逃走経路などデータを直接アプリ上に残すことができるので、次回の捕獲にデータを生かすことができます。

The screenshot displays the 'ドローンロケーション' (Drone Location) application interface. At the top, there is a title bar with a gear icon. Below it, the '作戦計画' (Mission Plan) section is visible, featuring a '作戦情報の編集' (Edit Mission Information) button. A table lists mission details:

作戦予定日時	作戦名	回数	場所
2022-09-06 15:00	testデータ	1	大阪近郊

Below the table are buttons for 'マップ切り替え' (Switch Map) and 'メンバーを表示' (Show Members). The main area is a topographic map with various markers and lines. A legend at the bottom identifies symbols: 'タツマ' (Tatsumaki), 'ドローン基地' (Drone Base), '飛行経路' (Flight Route), '逃走予想経路' (Escape Predicted Route), '獲点' (Capture Point), '熱いポイント' (Hot Point), '狩猟禁止区域' (Hunting Prohibited Area), and 'マークを削除' (Delete Mark). A blue button '変更内容を保存する' (Save Changes) is prominent, with other options like '作戦実行画面へ' (Go to Mission Execution Screen), '実績入力' (Enter Achievement), and '一覧に戻る' (Return to List).

© 2020-2022 Arcuss Japan Inc.

高性能ハンティングドローンUD4JH

特 徴

○高出力・高性能アンプを搭載し、上空100mの高さからでも犬の鳴き声などが確認できます。鳴き声などの音声は手元のコントローラーでオン・オフの切替が可能です。

○空中から犬などの鳴き声を大音量で響かせ鳥獣を追い込み追い払います。



スマートハンティング

新時代の狩猟
スマートハンティング
SMART HUNTING

京都府猟友会とのドローンオペレーター人材育成

ドローンを飛行させる場合

○現在、ドローンを飛行させる場合、二等免許を取得するか、民間で技能認証書を取得し包括申請をしてドローンを運用する必要があります。

京都府猟友会のオペレーター数

○現在、京都府猟友会所属の方で、**100名前後**の方が技能認証を取得され、ハンティングドローンを巻き猟で使用されています。

○ハンティングドローンが、京都府府下の各地域で導入が進んでおり、オペレーターの数も増えています。



ハンティングドローンの操縦士訓練

ドローン操縦士訓練

○普通サイズのドローンを使用して、ドローンの基礎を学ぶ。

学科 5時間

実技 10時間

修了試験後→技能認証取得



ハンティングドローン操縦士

○大型ドローンの操縦方法や安全な運用を学ぶ

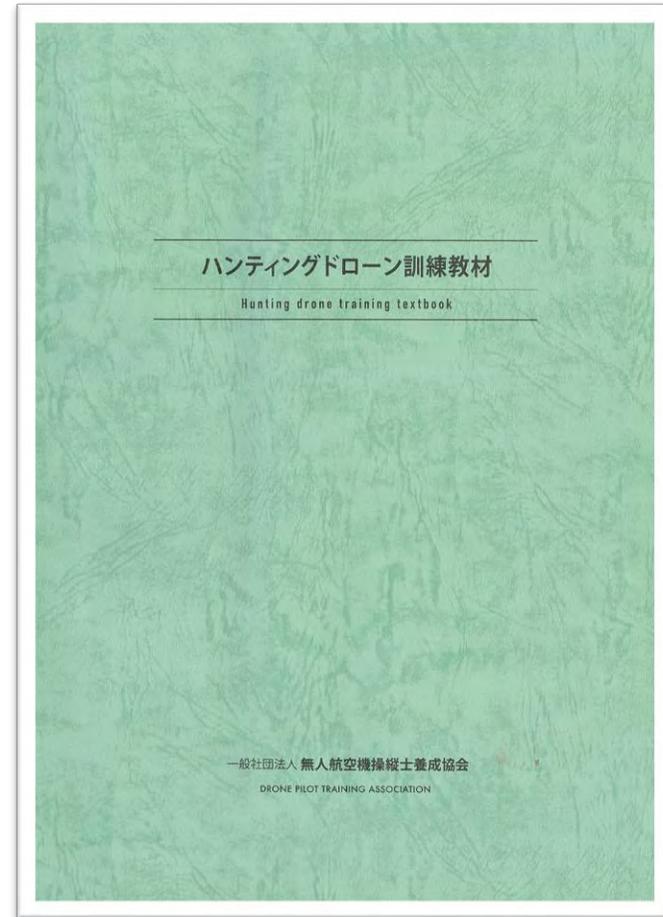
○ハンティングドローンを使った巻き猟の方法を教育



ハンティングドローンコース教材



普通操縦士コース



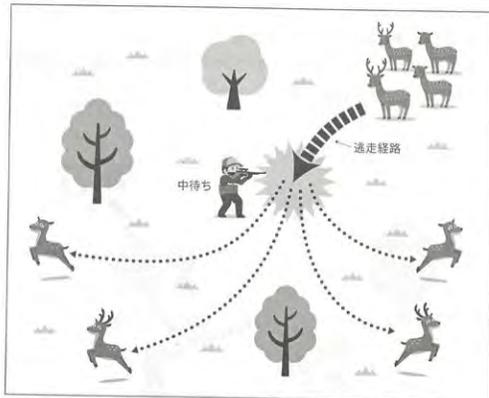
ハンティングドローン操縦士コース

ハンティングドローンオペレーター教育の一例

8-2 | 中待ちで群れを分散させる

獲物をドローンで追い込むと、群れになって逃走するケースが、統計上、散見されます。

追い込んだ獲物が群れになって逃走した場合は、中待ちで群れの先頭付近の獲物に対し捕獲発砲します。発砲に驚いた獲物は、四方八方に散らばり逃走する傾向があります。散らばった獲物は、逃走速度が極端に鈍り、捕獲が容易になります。



8-3 | 出山を短時間で追い、場所を変える

ハンティングドローンを使用した有害鳥獣の駆除は、本来の目的である「捕獲」以外にも、猟師が入山する事とドローンを飛ばす事による「追い払い効果」も期待できます。

長時間を必要とする猟犬を使った駆除に比べ、勢子と猟犬の回収の無いドローンを使用した駆除は短時間で済み、その分、多くの場所で駆除をすることが可能です。有害鳥獣対策において、ドローンは極めて効果的と言えるでしょう。



○ドローンの操縦訓練だけではなく、今までのドローン使った猟の経験や知識をハンタードローンコースにフィードバックして、すぐに活躍できるオペレーター教育を行っています。

ハンティングドローンオペレーター教育の一例



実地訓練

ハンティングドローンオペレーター教育の一例



亀岡市有害鳥獣広域捕獲



ご清聴ありがとうございました。